

科目名称	臨床整復学
授業コード	BH314
英語名称	Clinical theory of reposition by Judo 7
学期	2024年度前期
単位	2.0
担当教員	浅木 健治
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下腿骨上端部から足趾までの骨折，脱臼，軟部組織損傷について学習する</li> <li>・国家試験の出題問題なども適宜例に挙げ進めていくとともに臨床的に重要となる概念についても教授する</li> </ul>
科目に関連する実務経験と授業への活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柔道整復師としての接骨院にて臨床経験のある教員が下腿骨上端部から足趾までの骨折，脱臼，軟部組織損傷について講義する</li> </ul>
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本科目は，ディプロマ・ポリシーの【柔道整復師に必要な医学的知識・技術および基本的技能を有している】を達成するために必須となる科目である</li> <li>・下腿骨上端部から足趾までの骨折，脱臼，軟部組織損傷において診察・整復・固定・後療法の概要の理解と知識の習得を目標とする</li> </ul>
計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 膝蓋骨骨折（分類）</li> <li>2) 膝蓋骨骨折（発生機序～合併症）</li> <li>3) 下腿骨近位端部骨折</li> <li>4) 下腿骨骨幹部骨折</li> <li>5) 下腿骨遠位端部骨折</li> <li>6) 足根骨骨折</li> <li>7) 中足骨・足趾骨骨折</li> <li>8) 中足部・足趾部脱臼</li> <li>9) 膝関節軟部組織損傷（小児の膝変形～半月板損傷）</li> <li>10) 膝関節軟部組織損傷（側副靭帯損傷～変形性膝関節症）</li> <li>11) 下腿部軟部組織損傷（コンパートメント症候群～アキレス腱断裂）</li> <li>12) 下腿部軟部組織損傷（腓骨筋腱脱臼～過労性脛骨部痛）</li> <li>13) 足部軟部組織損傷（足関節捻挫～扁平足障害）</li> </ol>

計画・内容	14) 足部軟部組織損傷（セーバー病～モートン病） 15) 総括
授業の進め方	・配布プリントおよび教科書にて講義内容の理解 ・各講義ごとに確認問題を実施し理解度を確認
能動的な学びの実施	・該当なし
授業時間外の学修	・予習：次回講義該当箇所の教科書および配布プリントの通読 ・復習：実施した講義回の確認問題の反復学習およびプリント整理 （各回1～2時間）
教科書・参考書	書籍名：柔道整復学・理論編 改訂第7版 ・著者／編者名：公益社団法人 全国柔道整復学校協会 ・出版社：株式会社 南江堂 ・出版年：2022年 3月  書籍名：柔道整復学・実技編 改訂第2版 ・著者／編者名：公益社団法人 全国柔道整復学校協会 ・出版社：株式会社 南江堂 ・出版年：2012年 12月
成績評価方法と基準	・定期試験（100％）
課題等に対するフィードバック	・各講義ごとに確認問題を実施する  ・講義内で解答合わせと解説を行い 学生が理解不足の箇所をすぐに確認できるようにする
オフィスアワー	・Campus Square を参照
留意事項	・出欠カードリーダーの不正利用が判明した場合は 懲戒（退学，停学及び戒告）の対象となることがある  ・解剖学（下肢の骨・筋）を復習しておく 講義が理解しやすくなる
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	Zoomによるオンライン授業 授業動画配信によるオンデマンド授業 課題学修 のいずれかを実施，または複数を組み合わせて実施する  定期試験（100％）  対面試験が実施できない場合は それに代わる非対面試験で評価する